

- 震災から7年余りが経過、避難地域では小中学校の再開や特定復興再生拠点の整備が進むなど、福島復興は着実に進んでいる。
- 一方で、避難生活の長期化に伴い個別化、複雑化している課題への対応や風評・風化対策など、福島はいまだ有事が続いている。
- 復興・創生期間も残り3年、引き続き本県の復興・再生を国と一体となって進めていくため、特に以下の点について訴えていく必要がある。

《 現状・課題 》

➤ 福島復興再生特別措置法関連

- 重点推進計画認定 (H30.4.25)

➤ 避難地域・被災者関連

- 特定復興再生拠点区域復興再生計画認定

- ・ H29.9.15 双葉町 ・ H29.11.10 大熊町
- ・ H29.12.22 浪江町 ・ H30.3.9 富岡町
- ・ H30.4.20 飯館村 ・ H30.5.11 葛尾村



特定復興再生拠点区域

- 避難者数の推移

・ 164,865人 (H24.5) ⇒ 44,878人 (H30.7)

全国新酒鑑評会金賞受賞数
6年連続日本一



➤ 風評・風化対策関連

- 全国新酒鑑評会金賞受賞数

6年連続日本一 (H30.5.17)

- 全国植樹祭開催 (H30.6.10)

- ふくしまGAPフェア開催 (H30.7.24)

- Jヴィレッジ再開 (H30.7.28)

全国植樹祭開催



Jヴィレッジ再始動



➤ 福島イノベーション・コースト構想関連

- JAEA大熊分析・研究センター運用開始 (H30.3.15)

- 福島イノベーション・コースト構想シンポジウム開催 (H30.3.25)

- (一財)福島イノベーション・コースト構想推進機構体制強化 (H30.4.1)

- 関係閣僚会議開催 (H30.4.25)

- 福島ロボットテストフィールド一部開所 (H30.7.20)

➤ インフラ等環境整備関連

- 東北中央自動車道

(相馬玉野～霊山間) 開通 (H30.3.10)

- ふくしま復興再生道路 (八木沢工区)

全線開通 (H30.3.18)

- 復興祈念公園基本計画策定 (H30.7.6)

東北中央自動車道

(相馬玉野～霊山間) 開通



《 特に訴えるべき視点 》

1. 避難地域12市町村の生活環境整備

- ⇒ 「福島12市町村の将来像」の実現
- ⇒ 福島再生加速化交付金など必要な予算確保
- ⇒ 特定復興再生拠点区域の復興・再生
- ⇒ 避難者等の生活再建

2. 風評払拭・風化防止対策の強化

- ⇒ 国との連携、協力による風評・風化対策の更なる推進
- ⇒ 県産農林水産物等の安全確保と風評対策の強化
- ⇒ 「ふくしま食品衛生管理EPL」導入及び認証GAPによる消費者の信頼確保
- ⇒ 教育旅行の回復など観光復興の推進による風評対策の強化
- ⇒ Jヴィレッジの活用

3. 福島イノベーション・コースト構想の推進

- ⇒ 研究開発の推進及び産業集積の促進、構想を支える教育・人材育成
- ⇒ 浜通り地域等への交流人口の拡大及び生活環境の整備促進
- ⇒ 拠点の整備及び運営への支援
- ⇒ 推進体制基盤への支援

4. 新産業の創出及び産業再生

- ⇒ 再生可能エネルギー先駆けの地及び福島新工社会構想の実現
- ⇒ 医療関連産業、ロボット関連産業、航空宇宙産業の集積
- ⇒ 産業再生に向けた支援

5. 復興を支えるインフラ等の環境整備

- ⇒ 浜通りの復興に不可欠なインフラ整備の予算確保
- ⇒ 放射性物質対策の確実な実施
- ⇒ 中間貯蔵施設・特定廃棄物埋立処分施設等への対応